

令和6年度 大分地方最低賃金審議会

特定最低賃金専門部会

非鉄金属製造業

- 1 日時 令和6年10月15日(火) 午前10時00分～
- 2 場所 大分労働局 4階会議室
(大分市東春日町17番20号)
- 3 出席委員
公益代表：清水委員、田中委員、松隈委員
労働者代表：末廣委員、羽田委員
使用者代表：大塚委員、木下委員、坂本委員
- 4 事務局
大分労働局：本多労働基準部長、竹内賃金室長、幡手賃金室長補佐
- 5 議題
(1)金額審議
(2)その他
- 6 議事要旨
(1)金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議要旨
労側委員からは、
 - ・前年度の対地賃率の1.12は維持したい
 - ・電線事業、金属精錬事業のいずれも好況である
 - ・低位な賃上げ率では今後の人材不足防止や定着率に影響を及ぼす
 - ・価格転嫁できる環境が広がっている。取引先の事業存続などサプライチェーン全体で環境を良くしていきたいと考えるなどの説明があった。

使側委員からは、

- ・ 地域最賃の 55 円を踏まえた金額を考えるとところであるが、昨年度の全国の状況と比較すると、大分の対地賃率は最も高い
 - ・ 大分市での消費者物価指数 2.5%を参考にした 25 円としても対地賃率は 1.08 であり、今年度の他県より高い率である
 - ・ 小規模企業では近年の引き上げ額の大きさの影響が経営状況に徐々に表れてきている
 - ・ 賃金改定状況調査の第 4 表から金額を検討したい
- などの説明があった。

ウ 協議結果

公益委員より歩み寄りを求め慎重な審議が行われたが、意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月23日(水)午前10時00分から開催することとなった。